2024年上期助成決定一覧

№.	申請団体/個人	事業名	開催日・会場	事業内容	総経費	助成決定額
1	坂本善三美術館	ふたたび！プロダクツで作る善三展	展覧会：令和６年５月１８日（土）～９月１日（日） 記録集作成：展覧会終了～令和７年３月２０日（木・祝） 坂本善三美術館	坂本善三美術館では、様々なジャンルのゲストを招き収蔵品を再解釈する展覧会シリーズ「コレクション・リーディング」を行っている。8回目となる今回は主に小国町で活躍する木工職人や料理人などのものづくりのプロたちをゲストに、坂本善三や善三作品から発想した商品（プロダクツ）を作り、展示、販売する。この企画は2021年に開催し好評を博したもので、その第2弾として開催する。また、2023年以降、海外からの来館者が急増しており、本展は善三作品や地域の魅力をより広く伝える機会となりうると考えている。そのため、日英バイリンガル表記のウェブサイトを作成し、世界に向けて当館の創造的な取り組みを広げていきたい。	1,135,000	100,000
2	八戸　和男	八戸和男バリトンリサイタル	令和６年８月１７日（土） 熊本県立劇場 コンサートホール	大学入学と同時に声楽を岩津範和氏に師事、在学中に渡独。国立ミュンヘン音楽大学で発声、オペラアリア、リートをリヒャルト・ホルム教授に師事。帰国後、池端ミチ子氏、トーマソ・ヤッペリ氏、梅原秀次郎氏らのもとで研鑽を積む。定年退職後は合唱指導・演奏にも力を注ぐ。数多のステージでソロ演奏を行ってきたが、ゲスト出演が多く、自ら企画したソロコンサートは少ない。今回の演奏会は貴重な機会である。また、喜寿という年齢でのソロコンサートは他に例が少なく、非常に意義深い演奏会と考える。これから音楽を研鑽する学生や若手の演奏家にも演奏を聴いていただき、将来へ向けての意欲向上や参考となるところを吸収して精進して欲しいという目的もある。	1,060,000	100,000
3	台熊友好会	台灣文化団体合同公演事業	令和６年９月２３日（月・祝） 熊本城ホールシビックホール	台湾の半導体企業TSMCの本拠地である新竹で活動している管弦楽団を始め、歌劇団等四団体が来熊し、台湾独自に発展してきた台湾歌劇を披露する。その他台湾伝統楽器、八音なども台湾から持参する。普段台湾では頻繁に耳にする音だが、日本では耳にする機会のない音色に、台湾にいるような感覚を覚えることが期待できる。現地で活躍する文化団体が公演を行うことにより、来場者にとって台湾文化を目で、耳で、香りで体験する貴重な機会となることは間違いない。文化振興としての意義は大きいと考えられる。貴重な体験の機会に留まらず、今後更なる文化振興のためにも、現地音楽団体との交流も予定しており、熊本の音楽団体等に参加を打診中である。	1,324,150	150,000
4	熊本子どもミュージカル	第12回公演　夜空の虹	令和６年４月１４日（日） 熊本県立劇場	ミュージカルに必要な技術の習得だけでなく、子ども達の情操教育を目的として発足。県内各地の小学1年～高校3年生で構成。学校コミュニティや学年を超えた様々な関係性を持つことで、コミュニケーション能力や協調性を育てると共に、演劇教育を通して表現することの楽しさを感じ、自己肯定感を向上させて健全な成長を目指す。また、幅広い関わりを持つことにより、地域コミュニティの希薄化解決に繋げ、地元のホールで地元の子ども達による定期公演を行うことで、地域の方々にもミュージカルを身近に感じていただき地域の活性化に繋がればとの思いで活動している。演目は、児童劇団「大きな夢」のオリジナルである「夜空の虹」。やさしさ・勇気・思いやりがテーマ。	5,266,980	200,000
5	藤豊會	初代藤間勘太女生誕115年 創立90周年記念公演 第70回藤豊會	令和６年８月４日（日） 熊本県立劇場演劇ホール	藤豊會は、江戸時代より続く日本三大流派の一つである藤間流の古典日本舞踊の研鑽と伝承を目的に昭和8年に発足し、今年創立90周年を迎える。今後も、伝統ある古典舞踊を大切に守りながら時代性を生かし、日本の未来を担う多くの若い方々に伝えて行くための活動を続けて行く。今回、家元藤間勘右衛門師を迎え、創立90周年記念公演を開催する。地元の方々も、東京からお呼びしての公演を企画している。	14,200,000	300,000
6	熊本創瑛会	よか唄・よか声・よか合志 （皐月の合志に響く日本民謡の歌・三味線・箏・尺八・太鼓） 熊本創瑛会のあゆみ未来へ	令和６年５月２６日（日） 合志市文化会館 ヴィーブルホール	邦楽（民謡）の演奏会。第一章：津軽三味線合奏「六段合奏」「つがる紀行」、合唱「馬見原追分」「五十四萬石」、「恵楓音頭」継承と鎮魂、九州の民謡から10選、民謡おてもやんお話と歌唱実践指導、民謡尺八連管合奏「最上川紅の譜」、「能登舟漕ぎ唄」能登復興・再生祈念。第二章：津軽三味線合奏「津軽の魂」、箏で奏でる日本民謡、NHK現代邦楽作曲家杵屋正邦作品三選、競演津軽じょんから節、秋田珠玉の民謡集10選。エピローグ：「おてもやん」出演者全員客席と共に唄う。	1,507,000	50,000
7	公益財団法人　熊本市美術文化振興財団	熊本市現代美術館アートラボマーケット「ひろがる図工室」（仮）をつくるプロジェクト	令和６年６月１日（土）～３０日（日）（予定） 熊本市現代美術館 アートラボマーケット	2022年に熊本市現代美術館内にオープンした「アートラボマーケット」。アーティストのワークショップやトークなどを開催している。2024年は、アートラボマーケットをより“地域に開かれた創作の場（「ひろがる図工室」）”とするためのプロジェクトを行う。6月は「雑がみアトリエ」を開催予定。日常のゴミを分類し、作品の素材に変換するアーティスト・藤浩志が、自然・社会環境について考えをめぐらせているなかから生みだした活動「雑がみ部」。各家庭にある「雑がみ」の提供を受け、熊本のアーティストと地域の人々が一緒になり空間全体を自分たちの手で変えていく試み。熊本のアーティストとして、身近な素材を驚くような造形に変えていくプロダクトデザイナーのitiitiを招聘する。	300,000	50,000
				（計）	24,793,130	950,000